

パネルシアター
「たまご・たまご」

教科
(国語・算数)



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい : 繰り返しのあるお話に興味を持たせる。
- 2 発達段階: クラスの一斉指導に用いた。同じ教材でも発達段階のちがう児童が興味関心を持つよう言葉かけや課題に工夫をした。
- 3 使い方
 - ・「たまごたまご」の歌に合わせて、教師がパネルを操作したり、身ぶりをつけて歌ったりするのを見る。
 - ・「たまごたまご」の歌に合わせて、卵の中からヒヨコたちを取りだしてはり付けたり、おかあさん達をはり付けたりする。
 - ・教師の出ず、卵とおかあさん、またはお母さんと子どものくみあわせなどの問題に答える。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

- ・馴染みのある曲だったので繰り返し取り組むことで、身ぶりの模倣をしたり、パネルの操作を楽しんだりすることができた。
- ・「次は誰かな?」「この卵のお母さんはだあれ?」「このあかちゃんのお母さんはだあれ?」といった問いを児童によって変え、提示の仕方を工夫することで、お話の理解度を測ることができた。
- ・一斉指導に使うために、大きなパネルを使用した。もう一回り小さなものを使って少人数の指導に使うとまた違った反応が見られるのではと思われる。